



▲豊島輝彦「フランス人形」

▲豊島輝彦「教会」

寄贈の絵画

厨房職員のご家族が絵画の収集家であることから、この春ご厚意でお貸しくださった7点のコレクションを展示し、4月22日(火)～30日(水)に「春の絵画展」を開催。うち3点をその後ご寄贈いただき、現在は1階南側廊下壁面が常設展ギャラリーとなっています。

作品は3点とも色紙に描かれた水彩画で、小樽出身の豊島輝彦氏と、道展の発展に寄与した伊藤正氏の作。お二人とも故人ですが、北海道と関係の深い、郷土が誇る画家です。

観る人の心に穏やかな波紋を生み出すような水彩画ならではの筆致や透明感に、絵心のある入居者様はたびたび足を運び、「こういうふうに絵が描けたらいいわ



▲伊藤正「カトレア」

ねえ」と感想を口にするひとこまも。皆様も来館の際にはぜひご覧になってください。



▲プレゼントにクールベッドをもらって、「真夏も快適睡眠！」のりりこ

スタッフ リレーエッセー

将来への展望

介護士になる前まで接客業や飲食業でお客さんと接してきた僕は、介護の道に進むのが夢でした。この道には勉強や研修などで理解しなければならなかったことがたくさんあり、それを乗り越え成長して今に至ってます。まだまだ足りない部分があっ



介護職員 坂本 将哉

て注意されがちですが、自分のいいところは真面目さなので、しっかり受け止めて学んでいます。

これからの介護・福祉業界を新しい「カタチ」にして、若い方々にも興味を持たれるように知識を広めていきたいと思います。大好きなレクリエーションで一緒に身体を動かしながら入居者様との仲を深め、目指すはケアマネジャー、そしていつかは講師の道へ。そんな大きな夢を一步一步、追いつけていきたいと思っています。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3

TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133

入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗り(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内

検索

<http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家

その72
2025年7月

だより

●発行/株式会社私の青い空

●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



昭和のエネルギー

代表取締役 武田 治信

今年、令和7年は昭和でいうと100年に当たる年ということもあってか、昨今「昭和」という時代が注目されているようです。

敗戦から復活し、高度経済成長で右肩上がりに突き進んだ昭和時代は、現在から眺めるとエネルギーで光り輝いて見えるのかもしれませんが。ハラスメントに振り回されている現代人にとっては、宮藤官九郎さん脚本の人気ドラマ「不適切にもほどがある」で昭和の人々が繰り広げる日常に、ありえないと言いつつも、一方で痛快さを感じたのではないのでしょうか。私たちが平和に暮らす今につながる時代の原動力のようなものを、昭和から感じ取ることができるのかもしれませんが。

アウルコートは開設から早18年が過ぎました。入居者様は皆、昭和生まれで、戦中の大変な

時期を過ごされてきた方ばかりです。皆様と接していて痛感するのは、「若い」ということには限界があっても「若々しい」ということには限界はないということです。同じ屋根の下で暮らすお仲間を気遣い、私たち職員を励まし、日々を丁寧に暮らしていらっしゃる皆様の若々しいお姿に触れるたびに、現代人を魅了する昭和のエネルギーとは何なのかわかるような気がしてきます。

米の高騰対策として行う備蓄米の随時契約が話題に上っています。おいしい日本の米が悩みなく皆様に提供される平和な世の中が続いてほしいものです。

昭和のエネルギーを感じさせてくださる皆様が、いつまでもお元気で、健やかに過ごせるようにと祈るばかりです。

5月は桜 森林総合研究所

アウルでは春の訪れとともに外出行事が始まりました。一番人気は定番のお花見ドライブ。車窓を眺めながら豊かな自然が感じられる場所に繰り出し、四季の移ろいを風や香り、味わいなどを通し五感で楽しめます。



ご高齢になるとからだを動かすことがしんどくなり、外出も億劫になってしまいがちですが、お花を見るという目的は「ちょっ

と頑張っ外に出てみようかな」という気持ちにさせてくれるようです。

桜を求めてのドライブは5月2日(金)で、訪問先は豊平区羊ヶ丘の国立研究開発法人森林総合研究所北海道支所。見応えがあるのに人出の少ない穴場的な名所で、ここ数年はお花見ドライブの定番となっています。

森林総合研究所
北海道支所



天神山緑地

6月は藤 天神山緑地

例年お花見は5月の桜、7月のラベンダーでしたが、今年は6月の藤が加わりました。天神山緑地に樹齢200年を超える藤棚「天神藤」とあると知った

職員が下見に行き、その素晴らしさに感動。ぜひドライブの訪問先にと動き、実現しました。

この藤は明治時代に道外から開拓者が持ち込んだ盆栽の移植と見られ、道内最古の藤棚といわれてい



ます。2班に分かれ訪れた6月2日(月)・3日(火)はちょうど見ごろの時期。2m近い幹から四方25mほどに伸びた枝葉がつくる広大な藤棚は圧巻の迫力で、芳香に包まれ見上げる入居者様からは思わず感嘆の声が漏れました。

7月は、毎年微妙に見ごろを逃しているラベンダー畑を訪問。リベンジならずとも、好評のラベンダーソフトクリームが満足感を満たしてくれそうです。

ドライブシーズン到来。さあ、外に出よう 春夏は季節のお花めぐり



アウルの四季彩々日記



●4/1(火)

18年目の開設記念日

昼食前に武田代表があいさつをし、5年継続勤務で表彰された三本松看護師がスピーチ。感極まって言葉に詰まると入居者様から声援が飛び、心を打つお話に皆が目を潤ませていました



●5/3(土)

中庭のサクラでお花見

お花見ドライブに参加されなかった入居者様に向け、中庭の桜を愛でるお茶会を実施。モニターで桜の名所の映像を眺めたり、懐メロを聴いたりしながら、満開の桜を満喫しました。



▲▶ご入居者の菊地様撮影